

学習指導要領	桜町高校 学カスタンダード
<p>ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。</p> <p>イ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。</p>	<p>様々な文章の構成や展開に注意しながら主要な内容をとらえ、その論理性に気付くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評論「美しいを探す旅に出よう」において、「序論-本論-結論」など段落の全体構成をとらえることができ、「日本人の顔」において二項対立を使った論の展開を意識し、読解することができる。</li> <li>・小説中島敦「山月記」において、場面や人物などの設定を通して全体の骨組みやその展開の仕方をとらえることができる。</li> <li>・小説夏目漱石「こころ」全文を読むことで、構成や展開の工夫に気づき、書き手や文章中の人物のものの見方、感じ方、考え方などの主要な内容をとらえることができる。</li> </ul> <p>文章を読んで、書き手の意図に気付いたり、人物、情景、心情の描写などをとらえたりしながら、叙述や表現の優れた点を感じ取り、味わうことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評論「動的平衡」において、キーワードを通して、書き手の主張や意図を文章中から指摘し、整理することができる。</li> <li>・「山月記」「こころ」などで登場人物の人物像や心情の変化を、その言動から読み取ることができる。</li> <li>・漢語や和語の美しさやリズムなどを感じ取り、音読などを通して作品に親しむことができる。</li> <li>・同じ作家の他の作品などを読書することができる。文章の内容や表現の仕方について、その特色や価値を指摘しながら、自分の考えを深めることがで</li> </ul>

学習指導要領	桜町高校 学カスタンダード
<p>ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。</p> <p>エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。</p> <p>オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。</p>	<p>きる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評論「働かないアリに意義がある」を読んで、共感したり反発したりすることを通して、その根拠となる内容や表現を指摘することができる。</li> <li>・文章を読んで身近な人間、社会、自然などの問題に結び付け、自分の考えを明確にすることができる。</li> </ul> <p>目的や課題に応じて、収集した情報を整理して資料を作成し、根拠を示しながら自分の考えを述べることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評論教材を読んだ後、事典、新聞、書籍やウェブページなどを利用して情報を収集し、収集した情報を整理して、自分が活用しやすい資料を作成することができる。</li> <li>・作成した資料を活用して、自分の考えを表現することができる。</li> </ul> <p>語句の意味、用法について基本的な事柄を理解し、文体や語句の使い方などの表現の特色を意識して、自分の表現を見直すことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小説「山月記」「ころも」について、語句の意味・用法、比喩表現を理解し、また用いることができる。</li> <li>・「グローバル化の中の異文化理解」に使用される語句のうち、(普遍・画一・差異・制度疲労などの基本的な評論用語の意味を正しく理解し、用いることができる。</li> <li>・テレビのニュース番組や新聞記事などの概要を理解することができる。</li> </ul>

学習指導要領	桜町高校 学カスタンダード
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週一時間の語彙学習を通して、同音異義語、慣用句、ことわざ、評論基本用語などを正しく理解し、用いることができる。</li>   <li>・問題集「論点をさぐる」の演習を通して、新聞やニュースで使用される時事用語を知り、的確に用いて、小論文を書くことができる。</li> </ul>

学習指導要領		都立桜町高校 学カスタンダード
<p>(1) 世界史への扉</p>	<p>自然環境と人類のかかわり、日本の歴史と世界の歴史のつながり、日常生活にみる世界の歴史にかかわる適切な主題を設定し考察する活動を通して、地理と歴史への関心を高め、世界史学習の意義に気付かせる。</p> <p>ア 自然環境と人類のかかわり 自然環境と人類のかかわりについて、生業や暮らし、交通手段、資源、災害などから適切な歴史的事例を取り上げて考察させ、世界史学習における地理的視点の重要性に気付かせる。</p> <p>イ 日本の歴史と世界の歴史のつながり 日本と世界の諸地域の接触・交流について、人、もの、技術、文化、宗教、生活などから適切な歴史的事例を取り上げて考察させ、日本の歴史と世界の歴史のつながりに気付かせる。</p> <p>ウ 日常生活にみる世界の歴史 日常生活にみる世界の歴史について、衣食住、家族、余暇、スポーツなどから適切な事例を取り上げて、その変遷を考察させ、日常生活からも世界の歴史がとらえられることに気付かせる。</p>	
<p>(2) 諸地域世界の形成</p>	<p>人類は各地の自然環境に適応しながら農耕や牧畜を基礎とする諸文明を築き上げ、やがてそれらを基により大きな地域世界を形成したことを把握させる。</p> <p>ア 西アジア世界・地中海世界 西アジアと地中海一帯の地理的特質、オリエント文明、イラン人の活動、ギリシア・ローマ文明に触れ、西アジア世界と地中海世界の形成過程を把握させる。</p>	<p>[西アジアの地理的特質とオリエント文明]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエント文明においては、大河を利用した治水・灌漑<small>かんがい</small>を行うために、宗教的権威による神権政治が出現したことを理解する。</li> <li>・メソポタミアにおける諸民族の興亡、エジプトの統一国家の形成、東地中海の諸民族の活動を理解するとともに、オリエント文明の特徴を把握する。</li> </ul> <p>[イラン人の活動]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエント世界がアケメネス朝によって統一されるま</li> </ul>

学習指導要領	都立桜町高校 学カスタンダード
<p>イ 南アジア世界・東南アジア世界</p> <p>南アジアと東南アジアの地理的特質、インダス文明、アーリヤ人の進入以後の南アジアの文化、社会、国家の発展、東南アジアの国家形成に触れ、南アジア世界と東南アジア世界の形成過程を把握させる。</p>	<p>での歴史的経緯を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アレクサンドロス大王死後の西アジア世界におけるパルティア、ササン朝の興亡とゾロアスター教などのイラン文明の特徴を理解する。</li> </ul> <p>[地中海世界の地理的特質とギリシア・ローマ文明]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地中海一帯の土壌と農業の特徴から、地中海の交易が発達した理由を理解する。</li> <li>エーゲ文明の特徴、ポリスの形成過程、ポリス社会の特徴を理解する。</li> <li>アテネにおける民主政の成立過程を、ペルシア戦争を含めて理解するとともに、ポリス社会の衰退の過程を理解する。</li> <li>ポリスの変容からヘレニズム世界の形成までの歴史的過程を理解する。</li> <li>ローマ帝国の興亡の歴史的過程を政治制度の推移や征服活動などから理解する。</li> <li>キリスト教の迫害から国教化に至る過程を皇帝崇拜との関係から理解する。</li> </ul> <p>[南アジアの地理的特質]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中央アジア・西アジアと西北インドを結ぶカイバル峠越えの道の重要性を理解する。</li> </ul> <p>[インダス文明]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遺跡から出土した品々から、インダス文明の特徴を理解する。</li> </ul> <p>[アーリヤ人の進入以後の南アジアの文化、社会、国家の発展]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北インドにおけるマウリヤ朝・クシャーナ朝・グプタ朝・ヴァルダナ朝などの古代王朝の変遷と各王朝の支配領域と文化的特徴や、デカン高原以南のドラヴィダ系の地域におけるローマ帝国との交易関係について理解する。</li> <li>ヒンドゥー教の成立過程とその特徴を理解する。</li> <li>上座部仏教と大乘仏教の相違を理解するとともに、それぞれの諸地域への伝播の様子について地図を用いて理解する。</li> </ul> <p>[東南アジアの地理的特質と国家形成]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>半島部と島嶼部の地形的な特徴や産業の様子を理解する。</li> </ul>

学習指導要領		都立桜町高校 学カスタンダード
<p>ウ 東アジア世界・内陸アジア世界</p> <p>東アジアと内陸アジアの地理的特質、中華文明の起源と秦・漢帝国、遊牧国家の動向、唐帝国と東アジア諸民族の活動に触れ、日本を含む東アジア世界と内陸アジア世界の形成過程を把握させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半島部、島嶼部における諸国家の興亡と宗教的な特徴を理解する。</li> <li>[東アジア世界の地理的特質]</li> <li>・中国の黄河流域と長江流域の気候と農業の特徴を理解する。</li> <li>[中華文明の起源と秦・漢帝国]</li> <li>・仰韶文化と竜山文化の特徴、殷と周の支配体制の特徴、甲骨文字の役割を理解する。</li> <li>・春秋戦国時代の政治勢力の興亡、農業技術と貨幣経済の発展、諸子百家の代表的な思想の特徴を理解する。</li> <li>・秦の始皇帝の統治政策、漢の統治政策の推移、武帝の時代の対外遠征、漢代の文化の特徴などを理解する。</li> <li>[内陸アジアの地理的特質と遊牧国家の動向]</li> <li>・青銅製の馬具や武器を持った騎馬遊牧民の活動の特徴を理解する。</li> <li>・匈奴が冒頓単于の時代に強大化し、漢を圧迫した経緯やその後、漢の武帝の遠征を受け衰退した経緯を理解する。</li> <li>・三国時代・五胡十六国時代・南北朝時代の諸国家の興亡や社会経済の変化、魏晋南北朝の文化の特徴を理解する。</li> <li>[唐帝国と東アジア諸民族の活動]</li> <li>・均田制・租庸調制・府兵制・科挙を基盤とした隋・唐帝国の支配体制と唐代の国際性豊かな文化の特徴を理解する。</li> <li>・突厥・ウイグル・吐蕃・南詔などの周辺国家の特徴と唐との関係を理解する。</li> <li>・新羅による朝鮮半島の統一の歴史的過程を理解する。</li> </ul>	
<p>エ 時間軸からみる諸地域世界</p> <p>主題を設定し、それに関連する事項を年代順に並べたり、因果関係で結び付けたり、地域世界ごとに比較したりするなどの活動を通して、世界史を時間的なつながりに着目して整理し、表現する技能を習得させる。</p>		
<p>(3) 諸</p> <p>ユーラシアの海域及び内陸のネットワークを背景に、諸地域世界の交流が一段と活発化し、新た</p>		

学習指導要領		都立桜町高校 学カスタンダード
<p>地域世界の結合と変容</p>	<p>な地域世界の形成や再編を促したことを把握させる。</p> <p>ア イスラーム世界の形成と拡大 アラブ人とイスラーム帝国の発展、トルコ系民族の活動、アフリカ・南アジアのイスラーム化に触れ、イスラーム世界の形成と拡大の過程を把握させる。</p> <p>イ ヨーロッパ世界の形成と展開 ビザンツ帝国と東ヨーロッパの動向、西ヨーロッパの封建社会の成立と変動に触れ、キリスト教とヨーロッパ世界の形成と展開の過程を把握させる。</p>	<p>[アラブ人とイスラーム帝国の発展]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「コーラン」、イスラーム暦、六信五行などイスラーム教の特徴を理解する。</li> <li>・正統カリフ時代、ウマイヤ朝、アッバース朝におけるジハードの展開と統治政策を理解する。</li> <li>・エジプトに展開したファーティマ朝、アイユーブ朝、マムルーク朝の興亡を理解するとともに、イスラーム世界の中心がバグダードからカイロに移ったことを理解する。</li> </ul> <p>[トルコ系民族の活動]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セルジューク朝、カラハン朝、ガズナ朝などのトルコ系国家の興亡やイル=ハン国による西アジア支配について理解する。</li> </ul> <p>[アフリカ・南アジアのイスラーム化]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デリーに本拠を置いたインドのイスラーム諸王朝の興亡、東南アジアにおけるマラッカ王国、アフリカにおけるマリ王国やソンガイ王国の興亡を理解する。</li> </ul> <p>[イスラーム文明]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・固有の学問と外来の学問について、具体的な事例に即して理解する。</li> </ul> <p>[ビザンツ帝国と東ヨーロッパの動向]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユスティニアヌス帝時代のビザンツ帝国の繁栄と、ユスティニアヌス帝死後のビザンツ帝国の衰退の過程を理解する。</li> <li>・スラヴ人国家の興亡を理解するとともに、東スラヴ・南スラヴの諸民族がビザンツ文化とギリシア正教を、西スラヴ人が西欧文化とローマ=カトリックの影響を受けたことを理解する。</li> </ul> <p>[西ヨーロッパの封建社会の成立と変動]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲルマン人の大移動後にフランク王国が強大化し、ローマ=カトリック教会と提携することで、西ヨーロッパ世界の中心勢力となったことを理解する。</li> <li>・封建社会における荘園の構造と封建的主従関係による階層組織を理解する。</li> <li>・十字軍の活動をはじめとする 11 世紀以降の西ヨーロ</li> </ul>

学習指導要領		都立桜町高校 学カスタンダード
<p>ウ 内陸アジアの動向と諸地域世界</p> <p>内陸アジア諸民族と宋の抗争、モンゴル帝国の興亡とユーラシアの諸地域世界や日本の変動に触れ、内陸アジア諸民族が諸地域世界の交流と再編に果たした役割を把握させる。</p>	<p>ヨーロッパ世界の拡大、中世都市の特徴、封建社会の変容について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教皇権の衰退の過程と各国における国王権の伸長について理解する。</li> </ul> <p>[キリスト教とヨーロッパ世界の形成と展開]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キリスト教を中心とした中世ヨーロッパ文化について、具体的な事例から理解する。</li> </ul> <p>[内陸アジア諸民族と宋の抗争]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソグド人の活動とトルキスタンの成立、トルコ人のイスラーム化の過程を理解する。</li> <li>・契丹・女真と宋との軍事的抗争と経済関係について理解するとともに、契丹・女真の二重統治体制の特徴を理解する。</li> <li>・宋の文治主義統治と士大夫との関連を理解する。</li> <li>・宋代の都市の発達と貨幣経済の進展、南宋時代の江南の開発について理解する。</li> <li>・宋代の文化について、宋学・思想・美術・工芸を中心に理解する。</li> </ul> <p>[モンゴル帝国の興亡とユーラシアの諸地域世界や日本の変動]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・諸ハン国と元の関係を理解し、各領域を地図上で表現できる。</li> <li>・元の中国支配の特徴を理解する。</li> <li>・駅伝制が発達したモンゴルの陸上交通路と宋代の海上交通路が結び付き、広大なネットワークが形成されたことを理解する。</li> <li>・元及び諸ハン国の解体の過程と勃興勢力について理解する。</li> </ul>	
<p>エ 空間軸からみる諸地域世界</p> <p>同時代性に着目して主題を設定し、諸地域世界の接触や交流などを地図上に表したり、世紀ごとに比較したりするなどの活動を通して、世界史を空間的なつながりに着目して整理し、表現する技能を習得させる。</p>		
<p>(4) 地</p> <p>アジアの反映とヨーロッパの拡大を背景に、諸地域世界の結合が一層進展したこととともに、主</p>		



学習指導要領		都立桜町高校 学カスタンダード
球 世 界 の 到 来	<p>権国家体制を整え工業化を達成したヨーロッパの進出により、世界の構造化が進み、社会の変容が促されたことを理解させる。</p> <p>ア アジア諸地域の繁栄と日本 西アジア・南アジアのイスラーム諸帝国や東南アジア海域の動向、明・清帝国と日本や朝鮮などとの関係を扱い、16世紀から18世紀までのアジア諸地域の特質とそこでの日本の位置付けを理解させる。</p> <p>イ ヨーロッパの拡大と大西洋世界 ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の成立、世界各地への進出と大西洋世界の形成を扱い、16世紀から18世紀までのヨーロッパ世界の特質とアメリカ・アフリカとの関係を理解させる。</p>	<p>[西アジア・南アジアのイスラーム諸帝国や東南アジア海域の動向]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ティムール朝の興亡とトルコ=イスラーム文化の繁栄を理解する。</li> <li>・オスマン帝国の興亡と国家体制について理解する。</li> <li>・ムガル帝国のインド統治について、その宗教政策の変化や、宗教政策と地方勢力の台頭の間係を理解する。</li> <li>・ポルトガルやスペインの東南アジア進出とムスリム商人の活動について理解する。</li> </ul> <p>[明・清帝国と日本や朝鮮などとの関係]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明の成立と明初の統治体制について理解する。</li> <li>・明の海禁政策と朝貢体制の確立、北虜南倭への対応が朝貢体制に与えた影響について理解する。</li> <li>・清の中国統治の特徴や支配領域の拡大と周辺地域の統治について理解する。</li> <li>・日本について、勘合貿易、朝鮮出兵、「鎖国」体制下の海外交易について理解する。</li> </ul> <p>[ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の成立]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思想・芸術・科学などの分野におけるルネサンスの展開を理解する。</li> <li>・ドイツ・スイス・イギリスの宗教改革と対抗宗教改革の具体的な展開を理解する。</li> <li>・スペイン・オランダ・イギリス・フランス各国の興亡と三十年戦争の経過と結果を理解する。</li> </ul> <p>[世界各地への進出と大西洋世界の形成]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパ人による探検の事績を地図上で確認できるとともに、大航海時代の影響として商業革命と価格革命について理解する。</li> <li>・アジア市場におけるポルトガル・スペイン・オランダ・イギリス・フランス各国による覇権争いについて理解する。</li> <li>・アメリカにおける英仏の植民地争奪を理解する。</li> <li>・アメリカにおける砂糖やタバコのプランテーションにアフリカ系奴隷が労働力として使役された背景を理</li> </ul>

学習指導要領	都立桜町高校 学カスタンダード
<p>ウ 産業社会と国民国家の形成            産業革命、フランス革命、アメリカ諸国の独立など、18 世紀後半から 19 世紀までのヨーロッパ・アメリカの経済的、政治的変革を扱い、産業社会と国民国家の形成を理解させる。</p>	<p>解する。            [17～18 世紀のヨーロッパ文化]            ・経験論、合理論、ドイツ観念論、自然法思想、啓蒙思想の各思想家の思想について理解する。</p> <p>[産業革命]            ・イギリスで最初に産業革命が起こった理由を理解する。            ・産業革命の結果発生した労働問題や社会問題を理解する。</p> <p>[フランス革命、アメリカ諸国の独立]            ・13 植民地の形成からアメリカ合衆国の成立までの過程を、諸外国の動きを含めて理解する。            ・フランス革命の勃発から進展の過程を、革命を主導した社会層の変化に着目しながら理解する。            ・ナポレオンの国内政策と征服活動について理解する。            ・ラテンアメリカ諸国の独立の経過を理解する。</p> <p>[19 世紀のヨーロッパ・アメリカの経済的、政治的変革]            ・ウィーン体制の成立から動揺・崩壊の過程を理解する。            ・1848 年にヨーロッパ各地で起こった一連の革命・民族運動の経緯を理解する。            ・東方問題とロシアの南下政策、ロシアの改革について理解する。            ・イタリアとドイツの統一運動の過程を理解するとともに、ビスマルク外交のねらいと内容を理解する。            ・アメリカ合衆国の領土拡大の過程や南北戦争後の経済的発展について理解する。</p>
<p>エ 世界市場の形成と日本            世界市場の形成、ヨーロッパ諸国のアジア進出、オスマン、ムガル、清帝国及び日本などアジア諸国の動揺と改革を扱い、19 世紀のアジアの特質とその中での日本の位置付けを理解させる。</p>	<p>[世界市場の形成とヨーロッパ諸国のアジア進出]            ・国際的分業体制におけるアジア諸国の位置付けについて理解する。</p> <p>[オスマン、ムガル、清帝国及び日本などアジア諸国の動揺と改革]            ・西アジアにおいてワッハーブ派やウラービー運動、バービー運動に見られるイスラーム改革運動やアラブ民族運動が起きたことについて理解する。            ・インドの植民地化を進める中で、イギリス東アジア会</p>

学習指導要領		都立桜町高校 学カスタンダード
<p>オ 資料からよみとく歴史の世界</p> <p>主題を設定し、その時代の資料を選択して、資料の内容をまとめたり、その意図やねらいを推測したり、資料への疑問を提起したりするなどの活動を通して、資料を多面的・多角的に考察し、よみとく技能を習得させる。</p> <p>(5) 地球世界の到来</p> <p>科学技術の発達や生産力の著しい発展を背景に、世界は地球規模で一体化し、二度の世界大戦や冷戦を経て相互依存を一層強めたことを理解させる。また、今日人類が直面する課題を歴史的観点から考察させ、21世紀の世界について展望させる。</p> <p>ア 帝国主義と社会の変容</p> <p>科学技術の発達、企業・国家の巨大化、国民統合の進展、帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、国際的な移民の増加などを理解させ、19世紀後期から20世紀初期までの世界の動向と社会の特質について考察させる。</p>	<p>社の性格が変化していったことを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東南アジア諸地域でヨーロッパ諸国が大規模なプランテーション経営を展開したこととその影響を理解する。</li> <li>・アヘン戦争に至るイギリスの対中国政策の推移、南京条約・北京条約の内容について理解する。</li> <li>・太平天国の運動の民族主義的性格について理解するとともに、その後に展開された洋務運動の限界について理解する。</li> <li>・明治維新により近代化を進めた日本の対外政策について理解する。</li> </ul> <p>[科学技術の発達、企業・国家の巨大化、国民統合の進展]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(第一次)産業革命と比較して、第二次産業革命の特質を理解するとともに、第二次産業革命の結果、市場を独占した巨大企業の諸形態と、その特色を理解する。</li> </ul> <p>[帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・欧米各国の帝国主義政策と国内政策を理解するとともに、欧米諸国間の世界分割競争の経緯と結果を理解する。</li> <li>・欧米諸国の支配が強まる中で起きた、辛亥革命、国民会議派の形成、ドンズー運動、青年トルコ革命、イラン立憲革命などの近代化を目指した運動の経緯を理</li> </ul>	

学習指導要領	都立桜町高校 学カスタンダード
<p>イ 二つの世界大戦と大衆社会の出現</p> <p>総力戦としての二つの世界大戦、ロシア革命とソヴィエト連邦の成立、大衆社会の出現とファシズム、世界恐慌と資本主義の変容、アジア・アフリカの民族運動などを理解させ、20世紀前半の世界の動向と社会の特質について考察させる。</p>	<p>解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日清戦争から日露戦争に至る経緯について、日本とロシアの対立の背景から理解する。</li> </ul> <p>[国際的な移民の増加]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界規模での移民が増加した背景を理解する。</li> </ul> <p>[第一次世界大戦]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次世界大戦中の戦時外交、総力戦における統制経済について理解する。</li> </ul> <p>[ロシア革命とソヴィエト連邦の成立]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対ソ干渉戦争とソヴィエト政権の経済政策について理解する。</li> </ul> <p>[大衆社会の出現とファシズム]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヴェルサイユ・ワシントン体制下で進んだ国際協調の流れを理解する。</li> <li>・1920年代のアメリカ合衆国の「永遠の繁栄」と呼ばれた政治・経済の成熟を理解する。</li> <li>・イタリアでムッソリーニが一党独裁体制を確立していった過程を理解する。</li> <li>・ソヴィエト連邦でスターリンが一国社会主義論を唱え、独裁権を握っていった過程を理解する。</li> </ul> <p>[第一次世界大戦後のアジア・アフリカの情勢]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国における国民党と共産党の対立、インドにおける国民会議派と全インド=ムスリム連盟の対立について理解する。</li> </ul> <p>[世界恐慌とその後の世界情勢]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界恐慌による各国の経済的な打撃を具体的な指標から理解するとともに、アメリカ合衆国のニューディール政策の進展について理解する。</li> <li>・満州事変から日中戦争に至る過程やナチス=ドイツが独裁権を確立していった過程を理解する。</li> <li>・スターリンの独裁体制が確立していった時期のソヴィエト連邦の外交政策について理解する。</li> </ul> <p>[第二次世界大戦]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スペイン内戦から第二次世界大戦勃発前までのヨーロッパの国際情勢について理解する。</li> <li>・ヨーロッパにおけるドイツの、アジア・太平洋地域における日本の勢力拡大を地図上で理解する。</li> <li>・第二次世界大戦中に行われた首脳会談の内容について</li> </ul>

学習指導要領	都立桜町高校 学カスタンダード
<p>ウ 米ソ冷戦と第三世界</p> <p>米ソ両陣営による冷戦の展開、戦後の復興と経済発展、アジア・アフリカ諸国の独立とその後の課題、平和共存の模索などを理解させ、第二次世界大戦後から1960年代までの世界の動向について考察させる。</p>	<p>理解する。</p> <p>[米ソ両陣営による冷戦の展開]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際連合の主要機関の役割とともに、国際的な経済・金融の協力体制の形成について理解する。</li> <li>・戦後の東・西ヨーロッパの情勢とトルーマン=ドクトリンやマーシャル=プランが出された経緯を理解する。</li> <li>・ドイツの東西分断、中華人民共和国の成立、ヴェトナムの情勢、朝鮮戦争などから冷戦体制が世界化していく過程を理解する。</li> </ul> <p>[戦後の復興と経済発展]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西ヨーロッパ統合の流れを理解する。</li> <li>・日本が朝鮮特需で経済復興を果たし、ソ連との国交回復と国際連合加盟で国際社会への復帰を果たした過程を理解する。</li> </ul> <p>[アジア・アフリカ諸国の独立とその後の課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東南アジア・南アジア・西アジア諸国の独立の過程とアフリカ諸国の独立が進み、1960年が「アフリカの年」と呼ばれたことを理解する。</li> <li>・平和五原則の提唱、アジア=アフリカ会議や非同盟諸国首脳会議の開催がもつ歴史的意義を理解する。</li> <li>・アジア・アフリカの新興独立国の多くが慢性的な貧困に苦しみ、国際機関や欧米諸国の援助に依存せざるを得なかったことを理解する。</li> </ul> <p>[平和共存の模索]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キューバ危機を契機に米ソの緊張緩和の方向が現れ、核兵器の拡大を制限する交渉が始まったことを理解する。</li> <li>・1950年代の「スターリン批判」やハンガリー事件、1960年代の「プラハの春」をめぐる動きなど、東側陣営の変化を理解する。</li> <li>・中ソ対立の推移とプロレタリア文化大革命後の中国の変化を理解する。</li> <li>・ヴェトナム戦争の経過と結果、アメリカ合衆国の経済に与えた影響を理解する。</li> </ul>
<p>エ グローバル化した世界と日本</p> <p>市場経済のグローバル化とアジア経済の成</p>	<p>[市場経済のグローバル化とアジア経済の成長]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカ合衆国の貿易収支が赤字になった背景を理解</li> </ul>

学習指導要領	都立桜町高校 学カスタンダード
<p>長、冷戦の終結とソヴィエト連邦の解体、地域統合の進展、知識基盤社会への移行、地域紛争の頻発、環境や資源・エネルギーをめぐる問題などを理解させ、1970年代以降の世界と日本の動向及び社会の特質について考察させる。</p> <p>オ 資料を活用して探究する地球世界の課題 地球世界の課題に関する適切な主題を設定させ、歴史的観点から資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、資料を活用し表現する技能を習得させるとともに、これからの世界と日本の在り方や世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望させる。</p>	<p>する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第四次中東戦争の勃発と第一次石油危機の発生を理解する。</li> <li>・先進工業国で、省エネ対策、代替エネルギーの開発、先進技術開発が進む中で、貿易摩擦が激化したことを理解する。</li> </ul> <p>[冷戦の終結とソヴィエト連邦の解体]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国における改革・開放路線の推進と天安門事件、ヴェトナムにおけるドイ=モイ政策の推進を理解する。</li> <li>・ソヴィエト連邦のペレストロイカが東欧諸国の民主化に与えた影響を理解する。</li> <li>・東欧諸国の民主化、冷戦の終結、ソヴィエト連邦の解体の一連の歴史的過程を理解する。</li> </ul> <p>[地域統合の進展]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・EUの取組をECと比較し、EUの特徴を理解する。</li> </ul> <p>[地球的諸課題をめぐる問題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧ユーゴスラヴィア内戦の原因と経過、結果を理解する。</li> <li>・2001年に発生した同時多発テロ事件とその後の対テロ戦争について理解する。</li> <li>・環境や資源・エネルギー問題が発生してきた歴史的背景を理解する。</li> </ul>





学習指導要領		都立桜町高校 学カスタンダード
(1) 原 始 ・ 古 代 の 日 本 と 東 ア ジ ア	<p>原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア 歴史と資料 遺跡や遺物、文書など様々な歴史資料の特性に着目し、資料に基づいて歴史が叙述されていることなど歴史を考察する基本的な方法を理解させ、歴史への関心を高めるとともに、文化財保護の重要性に気付かせる。</p> <p>イ 日本文化の黎明と古代国家の形成 旧石器文化、縄文文化及び弥生文化の時代を経て、我が国において国家が形成され律令体制が確立する過程、隋・唐など東アジア世界との関係、古墳文化、天平文化に着目して、古代国家の形成と展開、文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p> <p>ウ 古代国家の推移と社会の変化 東アジア世界との関係の変化、 荘園・公領の</p>	<p>[歴史と資料]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各時代を代表する遺跡や各時代を特色付ける遺物、文献資料などから、歴史は資料から叙述されており、それが歴史を考察する基本的な方法であることを理解するとともに、文化財保護の重要性を知る。</li> </ul> <p>[日本文化の黎明]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旧石器文化と縄文文化の特色を食料資源や使用した道具の違いによって区別できる。また、呪術的な風習が行われたことを知る。</li> <li>水稲耕作の開始と金属器の使用に着目し、弥生文化の特色について知る。</li> </ul> <p>[古代国家の形成と展開、文化の特色と背景]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小国が形成され、互いの抗争の中で邪馬台国が統合したことを知る。</li> <li>大和政権の成立と国内統一の過程を知る。</li> <li>推古朝の政治、遣隋使の派遣や飛鳥文化の特色を知る。</li> <li>大化改新、壬申の乱を経て、律令に基づく国内統治体制が整備されたことを知る。</li> <li>平城京遷都、遣唐使、国分寺建立や藤原氏の政界進出について知る。</li> <li>天平文化の特色を知る。また、造寺・造仏や記紀の編纂が国家事業として進められたことを知る。</li> </ul> <p>[古代国家の推移]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平安京遷都や東北経営の二大政策が進められたこと</li> </ul>



学習指導要領		都立桜町高校 学カスタンダード
<p>動きや武士の台頭など諸地域の動向に着目して、古代国家の推移、文化の特色とその成立の背景及び中世社会の萌芽<sup>ほうが</sup>について考察させる。</p>		<p>を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 摂関政治全盛期の藤原道長・頼通の政治について整理し、摂関政治が藤原氏による外戚政治であることを知る。</li> </ul> <p>[文化の特色とその成立の背景]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 弘仁・貞観文化の特色を知る。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仮名文字による和歌や女流文学の発達、浄土教の変容や貴族の生活などから日本の風土や生活に適合した新しい貴族文化が進展したことを知る。</li> </ul> <p>[中世社会の萌芽<sup>ほうが</sup>]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 寄進地系荘園の発生について知る。</li> <li>・ 武士の登場について知る。</li> </ul>
<p>(2) 中世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>中世の日本と東アジア</p> <p>ア 歴史の解釈</p> <p>歴史資料を含む諸資料を活用して、歴史的事象の推移や変化、相互の因果関係を考察するなどの活動を通して、歴史の展開における諸事象の意味や意義を解釈させる。</p> <p>イ 中世国家の形成</p> <p>武士の土地支配と公武関係、宋・元などとの関係、仏教の動向に着目して、中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p>		<p>[歴史の解釈]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な資料を活用し、「何が」「いつ」「どのように」移り変わっていったのか検討し、「なぜ」そのような出来事や変化が生じたのかを考察する。</li> </ul> <p>[中世国家の形成過程や社会の仕組み]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 摂関政治に代わって院政が開始されたことを知る。</li> <li>・ 平氏政権の成立について知る。</li> <li>・ 源平の争乱と鎌倉幕府の成立について知る。</li> <li>・ 北条氏の台頭と執権政治について知る。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 武士社会における御成敗式目の制定、惣領制について知る。</li> <li>・ 蒙古襲来と御家人の窮乏について知る。</li> </ul> <p>[文化の特色とその成立の背景]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 院政期に新たな文化が芽生えたことを知る。</li> </ul>

	学習指導要領	都立桜町高校 学カスタンダード
	<p>ウ 中世社会の展開</p> <p>日本の諸地域の動向、日明貿易など東アジア世界との関係、産業経済の発展、庶民の台頭と下剋上、武家文化と公家文化のかかわりや庶民文化の萌芽に着目して、中世社会の多様な展開、文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新仏教が成立したことを知る。</li> <li>・大陸伝来の新技術、武士や庶民を題材にした文学や絵巻物が作成されたことを知る。</li> </ul> <p>[中世社会の多様な展開]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建武の新政と南北朝動乱について知る。</li> <li>・守護大名の登場と室町幕府の成立について知る。</li> <li>・応仁の乱後、下剋上の風潮の中で戦国大名が生まれたことを知る。</li> <li>・勘合貿易の内容について知る。</li> </ul> <p>[文化の特色とその成立の背景]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・諸産業と流通や地域経済が発達したことを知る。</li> <li>・南北朝文化・北山文化・東山文化の特色を知る。</li> <li>・文化の地方普及と都市の形成について知る。</li> </ul> <p>[歴史の説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的事象には複数の歴史的解釈が存在することを、それぞれの解釈を述べた書物・論文などを読み理解する。</li> </ul>
(3)	<p>近世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p>	
近世の	<p>ア 歴史の説明</p>	
の日	<p>歴史的事象には複数の歴史的解釈が成り立つことに気付かせ、それぞれの根拠や論理を踏まえ</p>	

学習指導要領		都立桜町高校 学カスタンダード
本 と 世 界	<p>て、筋道立てて考えを説明させる。</p> <p>イ 近世国家の形成 ヨーロッパ世界との接触やアジア各地との関係、織豊政権と幕藩体制下の政治・経済基盤、身分制度の形成や儒学の役割、文化の特色に着目して、近世国家の形成過程とその特色や社会の仕組みについて考察させる。</p> <p>ウ 産業経済の発展と幕藩体制の変容 幕藩体制下の農業など諸産業や交通・技術の発展、町人文化の形成、欧米諸国のアジアへの進出、学問・思想の動きに着目して、近世の都市や農山漁村における生活や文化の特色とその成立の背景、幕藩体制の変容と近代化の基盤の形成について考察させる。</p>	<p>[近世国家の形成とその特色や社会の仕組み]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・織豊政権の統一事業の過程での代表的な戦いや、検地・刀狩などの国内政策や外交政策について知る。</li> <li>・桃山文化の特色を知る。</li> <li>・江戸時代に全国支配を行ったのは、徳川將軍を中心とした江戸幕府であることを知る。</li> <li>・鎖国はどのような体制であったかを知る。</li> </ul> <p>[産業経済の発展や文化の特色]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元禄時代の政治や正徳の治の代表的な政策を知る。</li> <li>・農業中心に経済が発展し、交通や貨幣制度が整備されたことを知る。</li> <li>・元禄文化の特色を知る。</li> <li>・享保の改革や田沼政治の代表的な政策を知る。</li> <li>・宝暦・天明期の文化の特色を知る。</li> </ul> <p>[幕藩体制の変容と近代化の基盤形成]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寛政の改革や天保の改革の代表的な政策を知る。</li> <li>・列強の接近が幕府を中心とした国内の支配体制を脅かしたことを知る。</li> <li>・改革に成功した薩摩藩・長州藩などの雄藩の台頭について知る。</li> </ul>

学習指導要領		都立桜町高校 学カスタンダード
<p>(4) 近代国家の形成と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア 明治維新と立憲体制の成立</p> <p>開国と幕府の滅亡、文明開化など欧米の文化・思想の影響や国際環境の変化、自由民権運動と立憲体制の成立に着目して、明治維新以降の我が国の近代化の推進過程について考察させる。</p> <p>イ 国際関係の推移と立憲国家の展開</p> <p>条約改正、日清・日露戦争とその前後のアジア及び欧米諸国との関係の推移に着目して、我が国</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 化政文化の特色を知る。</li> </ul> <p>[近代国家の形成とその特色や社会の仕組み]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鎖国体制に至る過程や鎖国下で交流のあった国や地域との関係を知り、鎖国の影響を理解する。</li> </ul> <p>[幕藩体制の変容と近代化の基盤形成]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 列強の接近の代表的事例を知り、鎖国体制の動揺を招いたことを理解する。</li> <li>・ 薩摩藩や長州藩の藩政改革の特色を知り、雄藩の台頭について理解する。</li> </ul> <p>[開国と幕府の滅亡]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ペリー来航の背景と、日米和親条約調印により幕府が鎖国政策から転換したことの意味を理解する。</li> <li>・ 通商条約調印の経過を理解するとともに、貿易の特色と国内の社会・経済に与えた影響を理解する。</li> <li>・ 尊王攘夷派と公武合体派との対立の原因や主導勢力について理解する。</li> <li>・ 大政奉還が出されたあとの対抗する勢力の動きを理解する</li> </ul> <p>[明治新政府の近代化の推進過程]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 五箇条の誓文と五榜の掲示が出された目的について理解する。</li> <li>・ 廃藩置県、四民平等、徴兵制、地租改正などの諸改革について、その後の影響を理解する。</li> </ul> <p>[文明開化]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文明開化が我が国の伝統的な文化を相対化する動きを伴いつつ、人々に与えた影響について理解する。</li> <li>・ 領土画定の経緯について、具体的な条約などを踏まえて理解する。</li> </ul> <p>[自由民権運動と立憲体制の成立]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国民の間に政治的関心が高揚し、自由民権運動が展開していったことを理解する。</li> <li>・ 大日本帝国憲法の成立過程と、この憲法の特色について理解する。</li> </ul> <p>[条約改正]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 条約改正の具体的な交渉内容について理解する。</li> </ul>	

学習指導要領	都立桜町高校 学カスタンダード
<p>の立憲国家としての展開について考察させる。</p> <p>ウ 近代産業の発展と近代文化 国民生活の向上と社会問題の発生、学問の発展や教育制度の拡充に着目して、近代産業の発展の経緯や近代文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p> <p>(5) 近代国家の展開と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア 政党政治の発展と大衆社会の形成 政治や社会運動の動向、都市の発達と農山漁村の変化及び文化の大衆化に着目して、政党政治の発展、大衆社会の特色とその成立の背景について考察させる。</p> <p>両 世 界 大 戦 期 の 日 本 と 世 界</p>	<p>[日清・日露戦争とその前後のアジア]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日清戦争をめぐる国際情勢について理解する。</li> <li>・初の政党内閣の成立に対する政府・元老の具体的な対応と、その後の政治状況への影響を理解する。</li> <li>・日露戦争について、日清戦争と対比して戦争の規模、経過、国内の世論、国際的な動向などを理解する。</li> <li>・植民地支配の過程を、アメリカ・イギリス・ロシアなど列強との関係を踏まえながら理解する。</li> </ul> <p>[近代産業の発展]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業の急速な発展によって我が国の資本主義が確立する一方、公害問題や労働問題が発生し、社会運動が起こったことを理解する。</li> </ul> <p>[近代文化の特色]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然科学分野における主な業績について理解する。</li> <li>・代表的な啓蒙思想家について知る。</li> <li>・近代文学と明治美術界の代表的作家と作品について知る。</li> </ul> <p>[政党政治の発展]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民衆の政治意識が高まり、一つの政治勢力にまで成長したことを理解する。</li> <li>・民衆は排外主義にとらわれず自らの生活を優先させ、日比谷焼打ち事件と比較して民衆意識が成長したことを理解する。</li> <li>・原内閣成立の背景と意義、その政策について理解する。</li> <li>・護憲三派内閣が普通選挙法と治安維持法を抱き合わせで成立させた意味を理解する。</li> <li>・各運動に参加した国民各層にどのような政治・経済上の主張や要求があったのか理解する。</li> </ul> <p>[大衆社会の形成]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市化と工業化の進展で大衆社会が形成されたことについて、具体的な事例を挙げて理解する。</li> </ul>

学習指導要領	都立桜町高校 学カスタンダード
<p>イ 第一次世界大戦と日本の経済・社会                      国際社会の中の日本の立場に着目して、第一次世界大戦前後の対外政策の推移や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について考察させる。</p> <p>ウ 第二次世界大戦と日本                      国際社会の動向、国内政治と経済の動揺、アジア近隣諸国との関係に着目して、対外政策の推移と戦時体制の強化など日本の動向と第二次世界大戦とのかかわりについて考察させる。</p>	<p>[第一次世界大戦前後の対外政策の推移]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第一次世界大戦への日本参戦の背景と二十一カ条要求などにより中国に権益を拡大していったことを理解する。</li> <li>・ ヴェルサイユ体制・ワシントン体制など国際的な協調体制がとられる中で日本の立場や対外政策の変化について理解する。</li> </ul> <p>[国内の経済・社会に及ぼした影響]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大戦景気の背景と国内経済・社会に生じた具体的な変化を理解する。</li> </ul> <p>[対外政策の推移]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界恐慌の発生やその対応策としての保護貿易主義の広がりなど、世界経済の動きを理解する。</li> <li>・ 全体主義の台頭による国際関係の変化や中国などにおける民族運動の進展を理解する。</li> <li>・ どのように軍部が政治的に進出したかを理解する。</li> <li>・ 金融恐慌や昭和恐慌の背景と経緯及び影響について理解する。</li> <li>・ 具体的な対外政策の推移について理解する。</li> </ul> <p>[戦時体制の強化と第二次世界大戦]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中国との戦争が長期化した背景を理解する。</li> <li>・ 戦場となった地域や戦争相手国の動向を踏まえて、第二次世界大戦の背景やその経過を理解する。</li> </ul> <p>[我が国の再出発]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 連合国による日本占領の特色と当初の占領方針の非軍事化と民主化の諸政策の内容を理解する。</li> <li>・ 占領政策の転換を東アジア情勢やアメリカの対世界政策の転換を踏まえて理解する。</li> <li>・ 日本国憲法制定の成立過程を整理し、その意義を理解する。</li> <li>・ サンフランシスコ平和条約と日米安全保障条約の内容と特色及び日本の独立の意義について理解する。</li> </ul> <p>[政治や対外関係の推移]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多極化する国際情勢の変化がアジアに緊張をもたらし、日本の政治・外交に大きな影響を及ぼしたことを理解する。</li> <li>・ 冷戦終結、グローバル化の進展など国際環境の変化などを理解し、日本が国際社会において重要な役割を果たしていることを理解する。</li> </ul>

学習指導要領		都立桜町高校 学カスタンダード
(6)	<p>現代の社会や国民生活の特色について、国際環境と関連付けて考察させ、世界の中での日本の立場について認識させる。</p> <p>ア 現代日本の政治と国際社会            占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察させる。</p>	
	<p>イ 経済の発展と国民生活の変化            戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。</p>	<p>[日本経済の発展と国民生活の変化]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財閥解体・農地改革、経済復興の過程を連合国の対日政策とのかかわりから理解する。</li> <li>・高度経済成長が可能となった歴史的・社会的条件について理解する。</li> <li>・科学技術の発達に伴う生活水準の向上とともに公害の発生などの社会問題が表面化したことを理解する。</li> </ul>
	<p>ウ 歴史の論述            社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などについて、適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、考えを論述する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身に付けさせる。</p>	<p>[歴史の論述]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などについて、社会生活にかかわる具体的な主題を自ら設定し、史・資料を多角的・多面的に考察し、自分なりの解答をレポートなどにまとめることができる。</li> </ul>

学習指導要領	桜町高校 学力スタンダード
<p>(1) ア 式と証明                      い (ア) 整式の乗法・除法、分数式の計算                      ろ 三次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し、                      い それらを用いて式の展開や因数分解をすること。                      ろ また、整式の除法や分数式の四則計算について理                      な 解し、簡単な場合について計算をすること。                      式</p>	<p>・ 3次式の因数分解の公式を活用できる。                      (例) 次の式を因数分解せよ。  <math display="block">x^6 - y^6</math></p> <p>・ 複数の文字からなる整式において、ある文字に着目して整式の除法ができる。                      (例) <math>3x^2 + 5xy - 2y^2 - 3x + 6y - 4</math> を  <math>x + y - 2</math> で割るとき、                      (1) <math>x</math> の整式とみて、割り算をしたときの商と余りを求めよ。                      (2) <math>y</math> の整式とみて、割り算をしたときの商と余りを求めよ。</p> <p>・ 二項定理の考え方を活用できる。                      (例1) <math>(a + b + c)^7</math> の展開式における <math>a^3b^2c^2</math> の項の係数を求めよ。                      (例2) 二項定理を用いて、次の等式を導け。  <math display="block">{}_nC_0 - {}_nC_1 + {}_nC_2 - \dots + (-1)^n {}_nC_n = 0</math></p> <p>・ 分母や分子に分数式を含む分数式の計算ができる。                      (例) 次の式を簡単にせよ。                      (1) <math display="block">\frac{1}{1 - \frac{1}{1 - \frac{1}{x}}}</math>                      (2) <math display="block">\frac{x}{x+1} - \frac{x+1}{x+2} - \frac{x+2}{x+3} + \frac{x+3}{x+4}</math></p>



学習指導要領	桜町高校 学力スタンダード
<p>(イ) 等式と不等式の証明 等式や不等式が成り立つことを、それらの基本的な性質や実数の性質などを用いて証明すること。</p> <p>イ 高次方程式 (ア) 複素数と二次方程式 数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすること。また、二次方程式の解の種類を判別及び解と係数の関係について理解すること。</p> <p>(イ) 因数定理と高次方程式 因数定理について理解し、簡単な高次方程式の解を、因数定理などを用いて求めること。</p>	<p>・恒等式を活用できる。 (例) 次の等式が<math>x</math> についての恒等式となるように、定数<math>a, b, c</math> の値を求めよ。 <math display="block">x^2 = a(x-1)^2 + b(x-1) + c</math></p> <p>・いろいろな性質を用いて、不等式の証明ができる。 (例) 次の不等式を証明せよ。 (1) 不等式<math>a^2 + b^2 + c^2 \geq ab + bc + ca</math> を証明せよ。また、等号が成り立つのはどのようなときか。 (2) 不等式<math> a + b  \leq  a  +  b </math> を証明せよ。また、等号が成り立つのはどのようなときか。</p> <p>・不等式を最大・最小問題へ活用できる。 (例) <math>x &gt; 2</math> のとき、<math>x + \frac{1}{x-2}</math> の最小値を求めよ。</p> <p>・やや複雑な条件つき等式の証明ができる。 (例) <math>a + b + c = 0</math> のとき、次の等式を証明せよ。 <math display="block">ab(a + b) + bc(b + c) + ca(c + a) + 3abc = 0</math></p> <p>・文字を含む2次方程式に解の判別を活用できる。 (例) 2次方程式<math>x^2 + (m-1)x - m + 4 = 0</math> の解の種類を判別せよ。</p> <p>・解と係数の関係を利用して、2次方程式を作ること等に活用できる。 (例) 2次方程式<math>2x^2 - 3x + 5 = 0</math> の2つの解を<math>\alpha, \beta</math> とするとき、<math>2\alpha + 1, 2\beta + 1</math> を解とする2次方程式を作れ。</p> <p>・剰余の定理の考え方を活用できる。 (例) 整式<math>P(x)</math> を<math>(x-1)(x+2)</math> で割ると余りは<math>-5x + 3</math>、<math>P(x)</math> を<math>(x-1)(x+2)</math> で割った余りを求めよ。</p>

	学習指導要領	桜町高校 学力スタンダード
<p>(2) 図 形 と 方 程 式</p>	<p>ア 直線と円                      (ア) 点と直線                      座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表すこと。また、座標平面上の直線を方程式で表し、それを二直線の位置関係などの考察に活用すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方程式の解が与えられたときなどに、因数定理の考え方を活用できる。                          (例) 3次方程式 <math>x^3 - 3x^2 + ax + b = 0</math> が、 <math>1 + 3i</math> を解に持つとき、実数の定数 <math>a, b</math> の値を求めよ。                          また、他の解を求めよ。</li> <li>・因数定理を用いてやや複雑な因数分解ができる。                          (例) 次の式を因数分解せよ。  <math display="block">2x^3 + x^2 - 5x + 2</math></li> <li>・1の3乗根を含む計算ができる。                          (例) 1の3乗根のうち、虚数であるものの1つを <math>\omega</math> とするとき、次の値を求めよ。  <math display="block">\omega^2 + \frac{1}{\omega^2}</math></li> <li>・座標平面上の2点間の距離の公式を用いて、正三角形の2頂点の座標から第3の頂点の座標を求めることができる。                          (例) A (3, 2), B (-1, 0), C を頂点とする三角形が正三角形となるとき、点Cの座標を求めよ。</li> <li>・座標を利用して図形の性質を証明できる。                          (例) <math>\triangle ABC</math> の辺BCの中点をMとすると  <math display="block">AB^2 + AC^2 = 2(AM^2 + BM^2)</math>                         であることを証明せよ。</li> </ul>

学習指導要領		桜町高校 学力スタンダード
<p>(3) 指数関数・対数関数</p>	<p>(イ) 円の方程式 座標平面上の円を方程式で表し、それを円と直線の位置関係などの考察に活用すること。</p>	<p>・線分を内分する点や外分する点の座標、また三角形の重心の座標を求めることにより、図形の性質を考察できる。 (例) <math>\triangle ABC</math> において辺AB, BC, CA を3 : 2に内分する点をそれぞれP, Q, Rとするとき、<math>\triangle ABC</math> と<math>\triangle PQR</math> の重心は一致することを証明せよ。</p> <p>・二直線の垂直条件を利用して、三角形の性質について考察できる。 (例) <math>\triangle ABC</math> の3つの頂点から、それぞれの対辺に下した垂線AL, BM, CN は1点で交わることを証明せよ。</p> <p>・二直線の交点を通る直線について考察できる。 (例) 2直線<math>2x - y + 5 = 0</math>, <math>3x + 2y - 1 = 0</math> の交点を通り、点(3, 9)を通る直線の方程式を求めよ。</p> <p>・点と直線の距離を求めることにより、三角形の面積を求めることができる。 (例) 3点A (-2, -1), B (1, 5), C (3, 2) を頂点とする<math>\triangle ABC</math> の面積を求めよ。</p> <p>・<math>x^2 + y^2 + lx + my + n = 0</math> が表す図形について考察できる。 (例) 方程式<math>x^2 + y^2 + 2kx - 4ky + k^2 - k + 5 = 0</math> が円を表すような定数<math>k</math> の値の範囲を求めよ。</p> <p>・二つの円の交点を通る直線や円の方程式を求めることができる。 (例) 二つの円<math>x^2 + y^2 - 1 = 0</math> と<math>x^2 + y^2 + 4x - 4y + 3 = 0</math> について次の問いに答えよ。 (1) この二つの円が2点を共有することを示せ。 (2) この二つの円の交点を通る直線の方程式を求めよ。 (3) この二つの円の交点を通り、原点を通る円の方程式を求めよ。</p>

学習指導要領	桜町高校 学力スタンダード
<p>イ 軌跡と領域 軌跡について理解し、簡単な場合について軌跡を求めること。また、簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすること。</p> <p>ア 指数関数 (ア) 指数の拡張 指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解すること。</p>	<p>・中心が原点ではない円について、その円周上の点における接線の方程式について考察できる。</p> <p>(例) 円 <math>(x-2)^2 + (y-1)^2 = 25</math> 上の点P (6, 4) における接線の方程式を求めよ。</p> <p>・定数 <math>k</math> の値によって動く放物線の頂点の軌跡を求めることができる。</p> <p>(例) 放物線 <math>y = x^2 + 2kx + k = 0</math> が <math>x</math> 軸と異なる2点で交わるように、定数 <math>k</math> の値が変化するとき、この放物線の頂点P の軌跡を求めよ。</p> <p>・連立不等式の表す領域を点 <math>(x, y)</math> が動くとき、<math>x, y</math> 一次式 <math>ax + by</math> のとる範囲について考察できる。</p> <p>(例) 次の連立不等式の表す領域をDとするとき、Dを図示せよ。また、点 <math>(x, y)</math> がこの領域を動くとき <math>2x + 3y</math> の最大値と最小値を求めよ。</p> $\begin{cases} 2x + y \leq 6 \\ x + 2y \leq 6 \\ x \geq 0 \\ y \geq 0 \end{cases}$ <p>・指数法則や累乗根の性質を利用して、対称式の計算や乗法公式に活用できる。</p> <p>(例1) 次の計算をせよ。</p> <p>(1) <math>(\sqrt[3]{3} + \sqrt[3]{5})(\sqrt[3]{9} - \sqrt[3]{15} + \sqrt[3]{25})</math></p> <p>(2) <math>(a+b)\left(a^{\frac{1}{2}} + b^{\frac{1}{2}}\right)\left(a^{\frac{1}{4}} + b^{\frac{1}{4}}\right)\left(a^{\frac{1}{4}} - b^{\frac{1}{4}}\right)</math></p> <p>(例2) <math>a &gt; 0</math> とする。<math>a + a^{-1} = 3</math> のとき、次の値を求めよ。</p> <p>(1) <math>a^2 + a^{-2}</math></p> <p>(2) <math>a^3 + a^{-3}</math></p>

学習指導要領		桜町高校 学カスタンダード
<p>(4) 三角関数</p>	<p>(イ) 指数関数とそのグラフ 指数関数とそのグラフの特徴について理解し、それらを事象の考察に活用すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指数関数 <math>y = a^x</math> のグラフの特徴を踏まえ、 <math>y = a^{x-p} + q</math> の形の指数関数のグラフがかける。 (例) 次の指数関数のグラフをかけ。また、漸近線を求めよ。 (1) <math>y = 3^{x+2} - 1</math> (2) <math>y = 2^{-x-1} + 3</math></li> <li>・各数の指数に合わせて累乗するなどの処理を行って、大小関係を求めることができる。 (例) 次の数の大小関係を、不等号を用いて表せ。 (1) <math>\sqrt{2}, \sqrt[3]{3}, \sqrt[4]{10}</math> (2) <math>\sqrt[3]{3}, 4^{\frac{1}{4}}, \left(\frac{1}{6}\right)^{-\frac{1}{6}}</math></li> <li>・文字の置き換えを行って、指数方程式や指数不等式、関数の最大値、最小値を求めることができる。 (例1) 次の方程式、不等式を解け。 (1) <math>2 \cdot 4^{x+1} - 17 \cdot 2^x + 2 = 0</math> (2) <math>9^x - 8 \cdot 3^x - 9 &lt; 0</math> (例2) 連立方程式 <math display="block">\begin{cases} 2^x + 3^{y+1} = 17 \\ 2^{x+3} - 3^{y+2} = 37 \end{cases}</math> を解け。 (例3) <math>y = 3(3^{2x} + 3^{-2x}) - 20(3^x + 3^{-x}) + 40</math> の最小値と、そのときの <math>x</math> の値をそれぞれ求めよ。</li> </ul>
<p>イ 対数関数 (ア) 対数 対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対数の性質を用いて、いろいろな計算を行うことができる。 (例1) 次の計算をせよ。 <math>(\log_3 4 + \log_9 2)(\log_2 9 - \log_4 3)</math></li> </ul>	

学習指導要領	桜町高校 学カスタンダード
<p>(イ) 対数関数とそのグラフ 対数関数とそのグラフの特徴について理解し、それらを事象の考察に活用すること。</p>	<p>(例2) <math>\log_{10} 2 = a, \log_{10} 3 = b</math> とするとき、 <math>\log_{12} 45</math> の値を <math>a, b</math> を用いて表せ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対数関数 <math>y = \log_a x</math> のグラフの特徴を踏まえ、 <math>y = \log_a (x - p) + q</math> の形の対数関数のグラフがかける。</li> </ul> <p>(例) 対数関数 <math>y = \log_2 (x - 3) + 1</math> のグラフをかけ。また、<math>x</math> 軸との共有点の座標を求めよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指数関数のグラフと対数関数のグラフの関係について理解する。</li> </ul> <p>(例) <math>y = 2^x</math> のグラフを直線 <math>y = x</math> について対称移動し、<math>x</math> 軸方向に1、<math>y</math> 軸方向に3だけ平行移動したグラフとなる対数関数を求めよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文字の置き換えを行って、最大値、最小値を求められる。</li> </ul> <p>(例) <math>\frac{1}{16} \leq x \leq 8</math> のとき、<math>y = (\log_2 x)(\log_4 8x)</math> の最大値、最小値を求めよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対数や指数の大小関係を求められる。</li> </ul> <p>(例) 次の数の大小関係を、不等号&lt;を用いて表せ。 <math>\log_3 5, 1, \frac{1}{2} \log_9 27</math></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複雑な対数方程式や対数不等式を解くことができる。</li> </ul> <p>(例) 次の方程式を解け。 <math>\log_2 x = 3 \log_x 2 - 2</math></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>常用対数を活用できる。</li> </ul> <p>(例) <math>6^{50}</math> は何桁の数か。また、最高位の数は何か。ただし、<math>\log_{10} 2 = 0.3010, \log_{10} 3 = 0.4771</math> とする。</p>

学習指導要領	桜町高校 学カスタンダード
<p>ア 角の拡張 角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解すること。</p> <p>イ 三角関数 (ア) 三角関数とそのグラフ 三角関数とそのグラフの特徴について理解すること。</p> <p>(イ) 三角関数の基本的な性質</p> <p>(5) 三角関数について、相互関係などの基本的な性質を理解すること。</p> <p>微分・積分の考え</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・扇形の面積や周の長さを多面的に考察できる。</li> <li>・三角関数のグラフをかくことができる。 (例) 周の長さが18cmの扇形について、次の問に答えよ。 (1) 扇形の中心角を<math>\theta</math>，半径を<math>r</math>とするとき，<math>\theta</math>を<math>r</math>で表せ。 (2) 扇形の面積が最大になる場合の面積，半径，中心角を求めよ。</li> <li>・三角関数のグラフを書くことができる。 (例) <math>y = 2\cos\left(2\theta - \frac{\pi}{3}\right)</math>のグラフをかけ。また，その周期を答えよ。</li> <li>・対称式を活用して、式の値を求めることができる。 (例) <math>\sin\theta + \cos\theta = \frac{1}{4}</math>のとき、次の式の値を求めよ。 (1) <math>\sin\theta\cos\theta</math> (2) <math>\sin^3\theta + \cos^3\theta</math></li> <li>・式変形などを利用して、三角関数を含む方程式、不等式の解を求めたり、三角関数の最大や最小について考察できる。 (例1) <math>0 \leq \theta &lt; 2\pi</math>のとき、次の方程式、不等式を解け。 (1) <math>\sin\left(2\theta - \frac{\pi}{6}\right) = \frac{\sqrt{3}}{2}</math> (2) <math>\cos\left(\theta + \frac{\pi}{3}\right) \leq -\frac{\sqrt{3}}{2}</math> (例2) 次の関数の最大値、最小値を求めよ。また、そのときの<math>\theta</math>の値を求めよ。 (1) <math>y = -\cos^2\theta - 4\sin\theta + 2 \quad (0 \leq \theta &lt; 2\pi)</math> (2) <math>y = \sin^2\theta + \cos\theta + 1 \quad (0 \leq \theta &lt; 2\pi)</math></li> </ul>

学習指導要領	桜町高校 学力スタンダード
<p>ウ 三角関数の加法定理 三角関数の加法定理を理解し、それをを用いて2倍角の公式を導くこと。</p> <p>ア 微分の考え (ア) 微分係数と導関数 微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原点を中心とする平面上の点の回転移動を理解する。 (例) 座標平面上で点Pを、原点Oを中心として<math>\frac{\pi}{4}</math>だけ回転させた点Qの座標が<math>(-5, 3)</math>であるとき、点Pの座標を求めよ。</li> <li>・加法定理を理解し、様々な問題を多面的に考察できる。 (例1) <math>\frac{\pi}{2} &lt; \alpha &lt; \pi</math>, <math>\sin \alpha = \frac{4}{5}</math> のとき、<math>\sin \frac{\alpha}{2}</math> の値を求めよ。あた、そのときの <math>x</math> の値を求めよ。 (例2) <math>0 \leq x &lt; 2\pi</math> のとき、<math>\cos 2x + 2\sin x - 3</math> の最大値と最小値を求めよ。また、そのときの <math>x</math> の値を求めよ。</li> <li>・三角関数の合成を用いて、最大値や最小値を求めることができる。 (例) <math>0 \leq x &lt; 2\pi</math> のとき、次の方程式、不等式を解け。 (1) <math>y = \sin x - \cos \theta</math> (<math>0 \leq x &lt; 2\pi</math>) (2) <math>y = \sqrt{3} \cos^2 x + 2\sin x \cos x - \sqrt{3} \sin^2 x</math> <math>(0 \leq x &lt; 2\pi)</math></li> <li>・瞬間の速さなどの具体的な事象の考察において、平均変化率や極限の考えを利用して考察することができる。 (例) 真下に落下する物体の <math>t</math> 秒後の落下距離 <math>h(t)</math> は <math>h(t) = 4.9t^2</math> で表される。このとき、次の間に答えよ。 (1) 3秒後から <math>3+h</math> 秒後までの平均の速さを求めよ。 (2) 3 秒後の瞬間の速さを求めなさい。</li> <li>・様々な関数について、定義にしたがって、導関数を求めることができる。 (例) 次の等式を証明せよ。 <math>(x^4)' = 4x^3</math></li> </ul>



学習指導要領	桜町高校 学力スタンダード
<p>(イ) 導関数の応用            導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかくこと。また、微分の考えを事象の考察に活用すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>(x^n)' = nx^{n-1}</math> の証明を理解する。</li> <li>・ 2 曲線が交わらない場合の共通接線を求めたり，2 曲線が接するための条件を理解する。            (例) 2 つの放物線 <math>y = x^2</math> と <math>y = -x^2 + 6x - 5</math> の共通接線の方程式を求めよ。</li> <li>・ 2 次や 3 次の関数について，区間が文字を使って表されている場合について最大値や最小値を考察できる。            (例) <math>a &gt; 0</math> とする。関数 <math>y = x(x-3)^2</math> の <math>0 \leq x \leq a</math> における最大値を求めよ。</li> <li>・ 具体的な事象の考察を微分の考え方を用いることができる。            (例) 半径が 3 の球に内接する直円錐のうちで，体積が最も大きいものの底面の半径，高さ，及びそのときの体積を求めよ。</li> <li>・ 3 次関数の極値をもつ条件や極値をもたない条件について理解できる。            (例) 関数 <math>f(x) = x^3 + ax^2 + x + 1</math> が極値をもたないための必要十分条件を答えよ。</li> <li>・ 定数項に文字定数を含む 3 次方程式の実数解の個数について，曲線と直線の共有点を考えることによって考察できる。            (例) 3 次方程式 <math>x^3 - 3x + k = 0</math> が，異なる実数解を 2 個もつように，定数 <math>k</math> の値を定めよ。</li> <li>・ 4 次までの関数において，増減や極値を調べ，グラフの概形をかくことができる。            (例) 関数 <math>y = -x^4 + 2x^2</math> の極値を求め，そのグラフをかきなさい。</li> </ul>

学習指導要領	桜町高校 学力スタンダード
<p>イ 積分の考え                      (ア) 不定積分と定積分                      不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分を求めること</p> <p>(イ) 面積                      定積分を用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求めること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定積分の値が定数になることを利用して、積分方程式を解くことができる。                      (例) 等式 <math>f(x) = x^2 + 2\int_0^1 f(t)dt</math> を満たす関数 <math>f(x)</math> を求めよ。</li>   <li>・放物線や直線で囲まれた複雑な形の面積を求めることができる。                      (例) 放物線 <math>y = x^2 - 2x + 4</math> に原点 <math>O</math> から 2 本の接線を引くとき、放物線と 2 本の接線で囲まれた部分の面積 <math>S</math> を求めよ。</li>   <li>・絶対値を含む関数や 3 次関数といった様々な関数についても、それらのグラフで囲まれた部分の面積を求めることができる。                      (例 1) <math>y = x(x+1)(x+2)</math> と <math>x</math> 軸で囲まれた部分の面積の和を求めなさい。                      (例 2) 関数 <math>y =  x^2 - 1 </math>, <math>x</math> 軸, 直線 <math>x = 2</math> で囲まれた図形の面積を求めよ。</li> </ul>

教科：数 学 科目：数学Ⅱ

作成様式

学習指導要領		都立桜町高校 学カスタンダード
<p>(1) 化学と人間生活</p>	<p>ア 化学と人間生活とのかかわり</p> <p>(ア) 人間生活の中の化学 日常生活や社会を支える物質の利用とその製造の例を通して、化学に対する興味・関心を高めること。</p> <p>(イ) 化学とその役割 日常生活や社会において物質が適切に使用されている例を通して、化学が果たしている役割を理解すること。</p> <p>イ 物質の探究</p> <p>(ア) 単体・化合物・混合物 物質の分離・精製や元素の確認などの実験を通して、単体、化合物及び混合物について理解するとともに、実験における基本操作と物質を探究する方法を身に付けること。</p> <p>(イ) 熱運動と物質の三態 粒子の熱運動と温度及び物質の三態変化との関係について理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金属やプラスチックは、それらの特性を生かして加工され利用されていることを理解する。</li> <li>・使用済みの金属やプラスチックが、回収後、再利用されるまでの過程を理解する。</li> <li>・洗剤の成分と化学的な働きについて理解する。</li> <li>・洗剤の使用量に適切な量があることの理由を理解する。</li> <li>・ある混合物を分離するのに、ろ過、蒸留、抽出、再結晶及びクロマトグラフィーの中から、適切な方法を選ぶことができる。</li> <li>・ろ過、蒸留、抽出、再結晶及びクロマトグラフィーの実験を行い、基本操作を習得するとともに、結果を記録できる。</li> <li>・炎色反応や沈殿反応から成分元素を特定できる。</li> <li>・身の回りの物質を、単体・化合物・混合物に分類することができる。</li> <li>・同素体とは何かを理解し、代表的な元素の同素体の名称を挙げるすることができる。</li> <li>・物質を構成する粒子は熱運動しており、温度が高くなると熱運動が激しくなることを理解する。</li> <li>・物質の状態は、粒子の熱運動及び粒子間に働く力の大小で決まることを理解する。</li> <li>・物理変化と化学変化の違いについて理解する。</li> <li>・気体分子のエネルギーには一定の分布が存在することを知る。</li> </ul>

学習指導要領		都立桜町高校 学カスタンダード
<p>(2) 物質の構成粒子 物質の構成</p> <p>ア 物質の構成粒子 (ア) 原子の構造 原子の構造及び陽子、中性子、電子の性質を理解すること。</p> <p>(イ) 電子配置と周期表 元素の周期律及び原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解すること。</p> <p>イ 物質と化学結合 (ア) イオンとイオン結合 イオンの生成を電子配置と関連付けて理解すること。また、イオン結合及びイオン結合でできた物質の性質を理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絶対温度について理解し、絶対温度とセルシウス温度を相互に換算できる。</li> <li>・原子と原子核の大きさを適切に表現できる。</li> <li>・陽子・中性子・電子の電荷及びそれらの質量比について理解する。</li> <li>・原子番号や質量数から陽子・中性子・電子の数を求めることができる。</li> <li>・放射性同位体の日常生活における利用例について知る。</li> <li>・原子番号 20 までの元素記号が書ける。</li> <li>・電子殻について理解し、原子番号 20 までの原子の電子配置を、電子殻を用いて表現できる。</li> <li>・原子番号 20 までの原子の価電子の数を求めることができる。</li> <li>・イオン化エネルギーなどの元素の周期律と価電子数の変化との関係を理解する。</li> <li>・周期表(族・周期)について理解し、典型元素の 1、2、17、18 族の同族元素の性質が類似していることを電子配置から理解する。</li> <li>・単原子イオンの生成を電子配置から説明できる。</li> <li>・イオン結合は、陽イオンと陰イオンの静電的な引力で生じることを理解し、一般に金属元素と非金属元素はイオン結合を作りやすいことを知る。</li> <li>・陽イオンと陰イオンが結び付く比を理解し、イオンからなる物質の組成式を作ることができる。</li> <li>・イオン結晶の性質を理解する。</li> <li>・代表的なイオン結晶の名前とその用途を挙げるることができる。</li> </ul>	

学習指導要領		都立桜町高校 学カスタンダード
(3) 物 質 の 変 化	<p>(イ) 金属と金属結合 金属結合及び金属の性質を理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由電子は、価電子が原子に共有されたものであることを理解する。</li> <li>・金属の電気伝導性・熱伝導性・展性・延性等の性質は、自由電子が関係していることを理解する。</li> <li>・代表的な合金の名前と用途及び合金にした方が有利である理由を知る。</li> </ul>
	<p>(ウ) 分子と共有結合 共有結合を電子配置と関連付けて理解すること。また、分子からなる物質の性質を理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子式と構造式を使って、分子を表現できる。</li> <li>・価電子と、共有電子対・非共有電子対について理解する。</li> <li>・<math>\text{NH}_4^+</math> を例として配位結合ができる仕組みを理解する。</li> <li>・結合の極性が生じる理由について理解する。</li> <li>・代表的な共有結合の結晶及び高分子化合物の構造と用途を知る。</li> </ul>
	<p>ア 物質と化学反応式 (ア) 物質量 物質量と粒子数、質量、気体の体積との関係について理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相対質量と原子量について理解し、相対質量と存在比から原子量を求めることができる。</li> <li>・与えられた原子量を用いて分子量・式量を求めることができる。物質量と質量の関係を理解し換算ができる。</li> </ul>
	<p>(イ) 化学反応式 化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・反応物と生成物が分子式やイオン式で与えられているとき、化学反応式を書くことができる。</li> <li>・化学反応式の係数比が物質質量比に対応していることを理解する。化学反応式から、物質の質量・物質の体積を求めることができる。</li> </ul>
	<p>イ 化学反応 (ア) 酸・塩基と中和 酸と塩基の性質及び中和反応に関与する物質の量的関係を理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酸と塩基の定義（アレニウス）を理解する。</li> </ul>

学習指導要領	都立桜町高校 学カスタンダード
<p>(イ) 酸化と還元 酸化と還元が電子の授受によることを理解すること。また、酸化還元反応と日常生活や社会とのかかわりについて理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表的な酸と塩基の価数と強弱を答えることができる。</li> <li>・水素イオン濃度と pH の関係について理解する。</li>   <li>・中和反応、中和点の意味について理解する。</li> <li>・酸と塩基からできる塩の組成式を書くことができ、それらの水溶液の性質を理解する。</li>   <li>・水溶液中の反応において、中和反応の量的関係が計算できる。</li>   <li>・酸素・水素・電子を含む反応式を見て、物質が酸化されているか、還元されているかを判断できる。</li> <li>・酸化還元反応の化学反応式を見て、酸化数の変化から酸化か、還元かを判断することができる。</li> <li>・酸化剤、還元剤について理解し、化学反応式から、酸化剤、還元剤として働いているそれぞれの物質を判断できる。</li> <li>・金属のイオン化傾向について理解し、金属と酸素・水・酸との反応について理解する。</li>   <li>・電池の原理について、酸化還元反応と関連付けて理解する。</li> </ul>

教科：理 科 科目：化学基礎

作成様式



学習指導要領		都立桜町高校 学カスタンダード
<p>(1) 物体の運動とエネルギー</p>	<p>ア 運動の表し方                      (ア) 物理量の測定と扱い方                      身近な物理現象について、物理量の測定と表し方、分析の手法を理解すること。</p> <p>(イ) 運動の表し方                      物体の運動の表し方について、直線運動を中心に理解すること。</p> <p>(ウ) 直線運動の加速度                      物体が直線上を運動する場合の加速度を理解すること。</p> <p>イ 様々な力とその働き                      (ア) 様々な力                      物体に働く力のつり合いを理解すること。</p> <p>(イ) 力のつり合い                      物体に様々な力が働くことを理解すること。</p> <p>(ウ) 運動の法則                      運動の三法則を理解すること。</p> <p>(エ) 物体の落下運動                      物体が落下する際の運動の特徴及び物体に働く力と運動の関係について理解すること。</p> <p>ウ 力学的エネルギー                      (ア) 運動エネルギーと位置エネルギー                      運動エネルギーと位置エネルギーについて、仕事と関連付けて理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・測定誤差を基に「12.3mm」と「12.30mm」の違いを理解し、科学表記 (<math>A \times 10^n</math>) を用いて表せる。</li> <li>・公式から基本単位を組み合わせて組立単位で表せる。</li> <li>・グラフを用いて平均の速度と瞬間の速度の違いについて理解する。</li> <li>・直線上の合成速度や相対速度について、計算できる。</li> <li>・等加速度直線運動の式を理解し、活用できる。</li> <li>・接触力と遠隔力を区別でき、最大摩擦力・動摩擦力、圧力、浮力の大きさが計算できる。</li> <li>・平面上でつり合っている力について、力の <math>x</math> 軸、<math>y</math> 軸それぞれの成分和が0になることを理解する。</li> <li>・作用と反作用は、同一作用線上にあり、大きさは等しく、互いに逆向きであることを知る。</li> <li>・静止している物体や、等速直線運動している物体にはたらく力を理解する。</li> <li>・摩擦力が加わる物体、斜面上を滑り落ちる物体、複数の物体、定滑車を含む物体などの運動方程式を立て、計算できる。</li> <li>・落下運動の公式を理解し、重力加速度 <math>g=9.8 \text{ m/s}^2</math> を用いて計算できる。</li> <li>・鉛直投射の運動を計算できる。</li> <li>・力の方向と物体の移動方向が異なる場合の仕事及び重力のする仕事を計算できる。</li> <li>・仕事率が「力×速度」で表されることを理解する。</li> </ul>

<p>(2) 様々な物理現象とエネルギーの利用</p>	<p>(イ) 力学的エネルギーの保存 力学的エネルギー保存の法則を仕事と関連付けて理解すること。</p> <p>ア 熱 (ア) 熱と温度 熱と温度について、原子や分子の熱運動という視点から理解すること。</p> <p>(イ) 熱の利用 熱の移動及び熱と仕事の変換について理解すること。</p> <p>イ 波 (ア) 波の性質 波の性質について、直線状に伝わる場合を中心に理解すること。</p> <p>(イ) 音と振動 気柱の共鳴、弦の振動及び音波の性質を理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弾性力による位置エネルギーを計算でき、運動エネルギーの変化量が、物体にした仕事に相当することについて理解する。</li> <li>・力学的エネルギーの保存（弾性力による位置エネルギー）に関する計算ができる。</li> <li>・物体の運動において、重力や弾性力以外の力が物体に対して仕事をしている場合には力学的エネルギー保存則が成り立たないことについて理解する。</li> <li>・内部エネルギーの意味を理解し、その大きさが温度に依存することを知る。</li> <li>・比熱、熱容量の定義を知り、熱平衡や熱量の保存について理解し、熱量と比熱の関係に関する計算ができる。</li> <li>・ジュールの実験などを通して、仕事が熱に移り変わることを理解し、熱力学第一法則を使った計算ができる。</li> <li>・<math>y-x</math> グラフ、<math>y-t</math> グラフから振幅や波長、周期、媒質の動きなどを読み取ることができ、公式を用いて波の速さが計算できる。</li> <li>・実験を通して波の重ね合わせについて理解し、定常波の作図ができる。</li> <li>・定常波ができる仕組みを理解し、固定端、自由端での入射波、反射波、合成波の作図ができる。</li> <li>・うなりが生じる仕組みについて理解する。</li> <li>・弦や開管の <math>n</math> 倍振動、閉管の <math>(2n - 1)</math> 倍振動について、図を用いて表現でき、弦の振動や気柱共鳴の固有振動数や、うなりから二つの音源の振動数を求めることができる。</li> </ul>
-----------------------------	--	--

<p>ウ 電気</p> <p>(ア) 物質と電気抵抗 物質によって抵抗率が異なることを理解すること。</p> <p>(イ) 電気の利用 交流の発生、送電及び利用について、基本的な仕組みを理解すること。</p> <p>エ エネルギーとその利用</p> <p>(ア) エネルギーとその利用 人類が利用可能な水力、化石燃料、原子力、太陽光などを源とするエネルギーの特性や利用などについて、物理学的な視点から理解すること。</p> <p>オ 物理学が拓く世界</p> <p>(ア) 物理学が拓く世界 「物理基礎」で学んだ事柄が、日常生活やそれを支えている科学技術と結び付いていることを理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抵抗値が抵抗の長さに比例し、断面積に反比例することを知り、ジュール熱、電力（消費電力）、電力量について計算できる。</li> <li>・磁界中でコイルを回転させると周期的に向きが変化する電圧が発生することを理解する。</li> <li>・一次コイルの巻数と二次コイルの巻数から、交流の変圧を計算できる。</li> <li>・電波、赤外線、可視光線、紫外線、X線、<math>\gamma</math>線の波長の違いやそれぞれの特徴を生かした利用方法について知る。</li> <li>・電気エネルギーを得るために利用しているエネルギーの特徴と長所、短所について知る。</li> <li>・核分裂や臨界、連鎖反応について知る。</li> <li>・原子力発電に使用されている代表的な放射性元素、放射線の種類とその特徴、原子力の利用とその安全性の問題について知る。</li> <li>・物理学の成果や応用が日常生活や社会で利用されていることについて、例えば宇宙空間での運動を映画等を鑑賞して理解する。</li> </ul>
---	--

学習指導要領		都立桜町高校 学カスタンダード
聞くこと	ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 聞いたことに対して、繰り返しや説明を求めたり、言い換えて確認したりするなどして、相手の話に関心をもって聞き続けることができる。</li> <li>・ 聞き取れない単語や未知の語句があっても、つながりを示す語句 (as a result, however, in other words, on the other hand など) に注意したり、具体例を参考にしながら、内容を推測したりするなどして聞き続けることができる。</li> <li>・ 70 語程度の事物に対する紹介や報告などを聞いて、メモを取るなどして、それらに含まれる事実や意見の概要や要点を捉えて、聞き続けることができる。</li> <li>・ 対話や討論などを聞いて、立場の違いや、それぞれの主張を正確に理解し、事実と意見や考えを区別しながら聞き続けることができる。</li> <li>・ 自然な速さで話された 20 秒程度の対話や討論を聞き、話し手の意見や立場を理解して、自分の考えをもつことができる。</li> <li>・ 場面や状況、相手の表情などを踏まえて、話し手の意図や立場を把握し、自分の考えを考慮しながら質問や指示などに適切に応じることができる。</li> <li>・ リズムやイントネーションなどに表れる話し手の意図や気持ちを捉え、キーワードやトピック・センテンスを的確に把握し、内容の展開を理解することができる。</li> <li>・ 英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など「聞くこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解する。</li> </ul>
読むこと	イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要に応じて英和辞典を活用しながら、400～500 語程度の教科書の説明、評論、物語、随筆などを読んで、事実や書き手の意見や考えを正確に捉え、書かれている内容について自分の考えをもつことができる。</li> <li>・ 教科書の文章を読んで、文中に未知の語句があっても、文脈や、文法及び構文についての知識を用いて推測で推測したり、背景となる知識を活用したりして</li> </ul>

学習指導要領		都立桜町高校 学カスタンダード
話すこと	<p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p>	<p>読み続けることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の文章などの単語の発音及び文章のリズムやイントネーションに注意して、適切な速度と音量で、聞き手に的確に伝わるように明瞭に音読することができる。</li> <li>・教科書などの 30 語程度の文章を、その意味を理解した上で、英語の音声的な特徴などに注意しながら暗唱することができる。</li> <li>・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら教科書の文章を読んで、議論の中心となる「論点」やそれに係わる「根拠」を明確にすることができる。</li> <li>・概要や要点を把握するために速読したり、詳細を理解するために精読したりするなど、目的に応じた読み方を選択することができる。</li> <li>・教科書の文章について、文と文のつながりや段落の構成、段落間の関連などを考えて読み進めることができる。</li> <li>・幅広い情報（例えば商品広告や公共施設の利用案内など）や平易なデータ（例えばアンケート結果など）が示されている図表を読み取ることができる。</li> <li>・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「読むこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解する。</li> <li>・英語学習者向けの英字新聞や雑誌、インターネット上の記事を読んで、情報や意見を読み取ることができる。</li> <li>・400～500 語程度の教科書の文章の内容を理解した後に、英語の質問を聞いて、根拠を示しながら文章で答えることができる。</li> </ul> <p>・教科書で扱った内容について、既習の語句や表現を応用して、ワークシートやメモなどを活用しながら、その概要を英語で相手に伝えることができる。</p> <p>・ペアやグループで、多様な捉え方ができる話題について、学んだことや経験したことに基づき、話し合ったり意見を交換したりして、結論を導くことがで</p>

学習指導要領		都立桜町高校 学カスタンダード
書くこと	<p>エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</p>	<p>きる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うまく言えないことがあっても、既習の語句や表現を効果的に用いたり、具体例を挙げたりして、情報や考えを相手に伝えることができる。</li> <li>・単語の発音に気を付けながら、場面や状況、相手の反応などを踏まえて、適切なリズムやイントネーションを用い、十分な声の大きさと話することができる。</li> <li>・ペアやグループでの話合いや発表で必要となる語句や表現、文法事項を身に付けている。</li> <li>・つながりを示す語句などを適切に用いながら話することができる。</li> <li>・新聞記事やニュースなどの情報に基づき、話し合ったり意見の交換をしたりする際に、相手の論点を把握し、自分の考えについて根拠などを示して話することができる。</li> <li>・聞き手を意識し、相手に分かりやすく効果的に伝わる表現を選んで話することができる。</li> <li>・他の生徒が話した内容や話し方について、良かった点や改善点を伝えることができる。</li> <li>・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「話すこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解することができる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだことや経験したことに基づき、幅広い話題について書く目的を明確に設定して 30～60 語程度の文章を書くことができる。</li> <li>・教科書の文章について、パートごとに、20 語程度の要約文を書くことができる。</li> <li>・教科書の文章や、聞いたり読んだりした内容について、感想や意見を、その理由とともに 30～60 語程度で書くことができる。</li> <li>・トピック・センテンスやサポーティング・センテンスの構成を考え、内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句を適切に用いながら、論理の一貫性がある文章を書くことができる。</li> <li>・幅広い話題について、図表を活用して情報や考えなどを伝えるために、グラフにおける数値の増減、状況の変化を示す表現を用いて、適切に書くことができる。</li> </ul>

学習指導要領	都立桜町高校 学カスタンダード
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を書く前に、自分の考えや関連する情報などを整理して、全体の構成を考えることができる。</li> <li>・自分で書いた文章を読み直し、表現の曖昧さをなくしたり、他の生徒や教師の意見を参考にしたりしながら、読み手を意識した文章を書くことができる。</li> <li>・必要に応じて英和辞書や和英辞書などを積極的に活用して書く。</li> <li>・ペアやグループでそれぞれが書いた文章を読み合い、語句や文法の誤りを正したり、読み手に効果的に伝わるように助言したりすることができる。</li> <li>・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「書くこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解する。</li> <li>・教科書の文章や、聞いたり読んだりした内容について、感想や意見を、その理由とともに 100～200 語程度で書くことができる。</li> <li>・トピック・センテンスやサポーティング・センテンスの構成を考え、内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句を適切に用いながら、論理の一貫性がある複数の段落からなる文章を書くことができる。</li> <li>・専門的な話題について、図表を活用して情報や考えなどを伝えるために、グラフにおける数値の増減、状況の変化を示す表現を用いて、適切に書くことができる。</li> <li>・文章を書く前に、自分の考えや関連する情報などを整理して、全体の構成を考えることができる。</li> <li>・自分で書いた文章を読み直し、表現の曖昧さをなくしたり、他の生徒や教師の意見を参考にしたりしながら読み手に伝わりやすく効果的な表現を用いた文章を書くことができる。</li> <li>・必要に応じて英和辞書、和英辞書や英英辞書などを積極的に活用して書く。</li> <li>・ペアやグループでそれぞれが書いた文章を読み合い、語句や文法の誤りを正したり、読み手に効果的に伝えるような的確な助言をしたりすることができる。</li> <li>・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「書くこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解する。</li> </ul>

